

第72号



2023.1月



発行 城里町社会福祉協議会 ☎029-288-7013 FAX 029-288-7021 ホームページ <https://www.shirosato-syakyu.com>
編集 広報ボランティアグループ

挑戦したい事は？

今年ど真ん中。

青春只今私たちは、

ございます。

おめでとう

明けまして

舞いあがれ!

スゴーイ

5キロダイエット

漢字検定2級合格

パソコンを使いこなす

日帰り温泉めぐり

鶏足山を孫と登る

ウォーキングで1万歩

バイクでツーリング

AED講習会参加

脳トレアプリで認知症予防

蕎麦打ち

マラソンで5キロ完走

カラオケで90点

車中泊で関東食べ歩き

昨年、ホロルのたまご会場にて
シルバー人材センター会員の皆さん

主な内容

- 新年のごあいさつ 2P
- ひきこもり当事者の居場所を 5P
- 卯年の豆知識 2P
- 桂小学校福祉体験 7P



新年のごあいさつ

社会福祉法人 城里町社会福祉協議会
会長 上遠野 修



新年あけましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、新春を晴々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の城里町長選挙におきましては、町民の皆さまからの力強いご支援を賜り、引き続き町政を担わせていただくことになりました。社会福祉協議会の会長としての責務も含めて、改めてその重責を受け止め、決意を新たにいたしております。

さて、新型コロナウイルス感染症とロシア・ウクライナの戦争が、世界経済に大きな影響を与えています。工業製品の納期が著しく延びて必要な時期に手に入らなくなつ

てしまったり、身近な食料品や燃料・電気代が値上がりするなど、私たちの生活にも影響が確実に及んでいます。このようなときに一番困るのは、

経済的・社会的に弱い人たちであり、そのような人たちのために役に立つのが社会福祉協議会の使命に違いありません。今後とも町民の皆様の声に耳を傾け、ボランティアの皆様と連携し、少しでもお役に立てるよう全力を尽くす所存ですので、ご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

結びに、新しい年が皆様にとって幸多いことをお祈り致しまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

つさぎ

卯年の豆知識

今年の血液型占い

A型のあなたは、何をやるのもうまくいく、やりたいうことを最大限にかなえられる年になるでしょう。運氣が盛大で、気力は充実。無敵状態と言えるでしょう。

O型のあなたは、「辛口」になってみるのが幸運のカギとなるようです。優しい態度よりも、正しい態度をとることを心がけると良いでしょう。

B型のあなたは、大変良い年です。これまでの苦労から解放され、コツコツと頑張ってきたことが認められますが、調子には乗らないよう気を付けてください。

AB型のあなたは、魅力がとて光る一年となるでしょう。控えめな一面があります。自然とあなたに周囲の視線が集まります。



卯年生まれの性格

卯年生まれの人の長所は、心が優しく、穏やかな所です。揉め事があっても、攻撃的になるよりも、一人で悩むタイプです。そもそも、揉め事が起こらないよう気配りをするのが上手です。その気配りや礼儀正しさから、人の意見をよく聞いて目上の人に可愛がってもらえます。

短所は、心が繊細で優しすぎる為、様々なことを敏感に感じ、その感受性の高さにより考え過ぎ、臆病になってしまふ時があります。行動を起こす前から失敗したらどうしようとかネガティブな考えになり、何も行動が出来なくなる場合があります。



卯の故事(つさぎ)

【兔の上り坂】ウサギは前足が短く、後足が長いので、坂を駆け上るのが得意で速いところから、物事がよい条件に恵まれて早くすすむことのとえ。地の利を得て特性を発揮することという。

【兔の昼寝】ウサギと亀が競争したが、亀をあとでつて昼寝をしたために負けたというイソップの寓話から、油断して失敗を招くこと。

【兔の耳】隠し事や人の知らない事件や噂などをよく聞き出してくること。また、その力を持つ人。地獄耳。

【二兔を追う者は一兔を得ず】逃げる二羽のウサギを、両方とも手に入れようと追う者は、結局どちらにも手に入れることはできない。とりあえず確実にできることからはじめよという教え。



第18回
城里町表彰式典

城里町社会福祉大会

昨年11月30日(水)コミュニティセンター城里において、城里町表彰式典並びに城里町社会福祉大会が開催され、コロナウイルス感染防止に注意しながら執り行われました。

上遠野町長の式辞にはじまり、これまで多年にわたり社会福祉の発展に功労のあった方々に表彰状の授与が行われ、来賓祝辞、閉式の辞にて式典は終了しました。

今回受賞されました方々の氏名、団体は次のとおりです。おめでとうございます。

なお、順不同にて敬称は略させていただきます。

城里町長表彰受賞者

- ◆自治功労表彰 杉山 清 小林 祥宏 河原井 大介 菌部 一
- ◆一般表彰(表彰状) 加藤 忠道 三村 伸一 片岡 徹男 小林 勝
- ◆一般表彰(感謝状) 久保田 えり子 小澤 龍夫
明治安田生命保険相互会社水戸支社
城里町建設業協会 会長 松崎 信一

城里町社会福祉協議会長表彰受賞者

- ◆ボランティア表彰 石崎 ひろみ 檜山 邦子 檜山 智恵子 大越 貞夫 山崎 睦男
山崎 えつ子 浅野 みち子 大越 敦子 菌部 博子 羽部 輝子
住谷 美里香 山田 青空 所 知紗
- ◆ボランティア感謝状 飯村 和代 仲田 悦子 大越 フミ 富田 英子 高須 恵子
高橋 敬子 畠山 幸子 高橋 きよ 柳橋 秀子
- ◆社会福祉協議会役員感謝状 関 誠一郎 鈴木 香代子 堀野辺 洋子
- ◆善意銀行感謝状 根本 正勝 皆川 泉 藤田 悟史 加藤木 直之
水戸ヤクルト販売株式会社

茨城県知事表彰受賞者(伝達)

- 柳橋 秀子 皆川 泉 富田 幸雄 寺門 淳子 飯村 美智子
牛久保 礼子 菌部 明美 木澤 玲子

茨城県社会福祉協議会長表彰受賞者(伝達)

- 青柳 マツ子 檜山 由紀子 飯村 要勝

茨城県共同募金会長感謝受賞者(伝達)

- 車田 誠 茨城県立水戸桜ノ牧高等学校常北校

令和4年度 城里町花いっぱい運動コンクール入賞団体

- ◆おもてなし花壇の部 最優秀賞 上坏長寿会
上坏フラワーボランティアの会
優秀賞 錫高野生産クラブ
- ◆団体・職場の部 最優秀賞 徳蔵体操グループ(秋桜会)
優秀賞 錫高野いき生きクラブ
高根長寿会
- ◆学校の部 最優秀賞 桂小学校
優秀賞 七会小学校
石塚小学校



(順不同、敬称略)

かめつとせむる

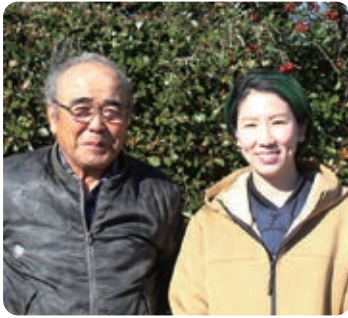
「畜産に生きる」

吉田 祐実さん(高根台)

牛が大好きで畜産を始め、吉田祐実さん取材しました。

吉田さんは3年前、常陸大宮市から城里町に移住して来ました。現在、桂地区孫根で畜産業をしている加藤木正道さんの牛舎で3頭の雌牛を育てています。

吉田さんと加藤木さんの出会いは、県の新規就農者向けの講座を受講した時で、知人に加藤木さんを紹介されました。後継者の件で悩んでいた加藤木さんと、畜産を希望している吉田さんとの話が進み現在に至ります。



加藤木さん(左)と吉田さん(右)

吉田さんは水戸農業高等学校の畜産課程を卒業しております。また、重機の免許も取得しており、飼料の運搬や牛から出る排泄物の処理等を手際よくこなしています。トラクターや草刈機のメンテナンスも加藤木さんの指導の下、行っています。

毎日の仕事は、牛の体調管理、朝と夕方の餌やり、牛舎の清掃がメインですが、夏になると、牛の餌になる牧草を確保する大変な作業があります。元々体を動かす事が好きなので全く苦ではないそうです。

畜産について加藤木さんに、今までに色々経験された事を教えていただき、現在飼育している雌牛を立派に育て、仔牛をつくる事が当面の目標です。その為には、出産というステージを乗り越えなければなりません。



牛の世話をする吉田さん

また、農業にも興味があり、牛舎周辺の土地で野菜等を作っています。来年は、初めて米作りにも挑戦するそうです。

吉田さんは、仕事の他に桂地区の70歳以上の高齢者世帯等を対象に行っている『配食サービス』のお弁当作りボランティアにも参加しています。「少しでも皆様のお役に立てれば」と話しておりました。

家族は、ご主人と小学生になる2人のお子様の4人家族です。趣味は、パンを作るのだそうです。笑顔で話す言葉に家族が美味しそうにパンを食べる姿が見えてきました。

つくしの四季

昨年11月25日(金)、野外活動として「りんご狩り」に行ってきました。目的地は大子町にある、以前もお世話になった「佐川果樹園」さんです。

りんごの収穫の仕方を教わり、ドキドキしながら職員と一緒に体験させていただきました。手早くもぎ取る人、何度も職員に確認をしておそろおそろ手をのぼす人、職員に手を添えても



おいしいリンゴを持ってハイポーズ



おいしいのを厳選中

らって収穫する人と様々でしたが、とても貴重な体験をすることができました。果樹園の方とも一緒に記念撮影をして収穫体験を無事終えることができました。

その後の試食では、りんごの甘さに大満足でした。自身が収穫したりんごであるため、より一層のおいしさに笑顔がこぼれました。

昼食は、あらかじめ頼んでいたお弁当をテイクアウトし、大子広域公園に向かいました。紅葉は終わりを迎えていましたが、とても広くてきれいな公園で食事をする事ができました。コロナ禍での活動として、電車利用や食堂の利用を避けながらも、十分に楽しい時間を過ごすことができました。

ひきこもり当事者の居場所を 「このゆびとまれ」～交流の場開設～ (地域ケア推進事業)

社会福祉協議会では、社会で生きづらさを感じている方に安心できる自分の居場所を見つけてほしいとの思いから、みんなの居場所「このゆびとまれ」を開設いたしました。

ひきこもり当事者ばかりでなく、そのご家族にとっても、安心できる場所になってほしいと願っています。

開設日 毎月第3金曜日
時間 午後1時30分から3時30分
場所 常北保健福祉センター 2階 研修室
参加費 無料

★開催時間内の入退室は自由です。
 ★誰かと話しても、一人で過ごしても構いません。

城里町社会福祉協議会 ☎029-288-7013



稲荷神社で記念撮影

その後、笠間稲荷神社の菊まつりを観て、楽しいひとときを過ごしていました。

参加された城里町の方は7名で、笠間芸術の森にあるウォーキングコースを歩きながら、会員同士の親睦を深めました。

これは、身体障害者の社会参加を促進し、自然の中で機能回復訓練を行うことにより、障害者相互及び地域社会の友愛の輪を広めることを目的としています。

昨年11月11日(金)、笠間芸術の森公園で、県主催の「身体障害者山の集い・銀輪の集い」が行われました。



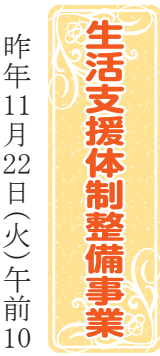
支援の多くは行政で行っていますが、その範囲外で応援できること、例えば歩くことが困難な世帯では、回覧板やお知らせもの等に対し、閲覧してもらったあと、次の世帯まで届けてあげること、家の周りのちよつとした片付けをすることや、ゴミ出しを我が家のものと一緒しよに集積所に運ぶことなどがあるとのことでした。

や問題点などを共有してもらう、というものでした。

そのためにまずは、地域において手助けを必要としている世帯へ、日常的に支援を行っている人達に集まってもらい、その支援の内容

情報交換会の内容は、むかし、向こう3軒両隣、と言われた隣組という相互の助けあいの組織を復活させていこう、というものでした。

昨年11月22日(火)午前10時から、桂公民館会議室において、社会福祉協議会主催の「生活支援体制整備事業」桂地区情報交換会が開催されました。



情報交換会

たいです。

またこちら側からの声掛けによって、相手に余計な心配や負担をかけることもあり得るので、当面は今までの通りの範囲で手助けをしていこうということになりました。

町内にはサロンの方々が、買い物などの支援を行っています。少しずつ支援の輪が広がっていくことを期待したいです。

参加者たちは、特にお願いされたわけでもなく、何となく感じて声をかけたことが始まりだったと言っていました。ただこの活動は、あくまでボランティアであり、自治会単位で話し合いを持ち、課題を共有することが大切になる、という意見も出ました。

またこちら側からの声掛けによって、相手に余計な心配や負担をかけることもあり得るので、当面は今までの通りの範囲で手助けをしていこうということになりました。

しるさと町民まつり
3年振り開催

昨年11月12日(土)と13日(日)の両日、城里町主催の「ホロルのたまご」しるさと町民まつり〜が、3年振りに常北運動広場において、盛大に開催されました。

これは、城里町の商工業・農業・福祉・文化団体・各支援団体が地域特性を活かし、いきいきとした活力のある町づくりのため、地域



常北保育園による和太鼓

住民と来場者が一丸となり、城里町の素晴らしさをアピールすることによって、関心を深めてもらうことを目的としています。

初日の12日(土)、会場に設けられたステージでは、認定こども園常北保育園による「和太鼓」から始まり、



会場の様子

「マーチング」「ジャズダンス」など8団体の催しが披露されました。翌13日(日)は、教育委員会による「しるさと郷土クイズ大会」から始まり、「ベリーダンス」など9団体が演技を披露しました。



シルバー人材センターによる出店

更に販売コーナーでは、農業・商工業・模擬店など46店が出店され、七会地区の日本一美味しい米も販売されていました。

たくさんの「ありがとう」が生まれています

～共同募金にご協力ありがとうございました～



昨年、物産センター「山桜」、道の駅かつらの敷地をお借りして、街頭募金を行いました。また、町民まつり〜ホロルのたまご〜において募金活動を行い、合わせて約90,000円を募金していただきました。皆様のご協力ありがとうございました。この募金は地域の福祉活動に役立てられます。



町民まつりで子どもヘルパーのみなさんと



しるさと 55
皇都の名水

皇都川は御前山の奥、大天狗あたりより流れ出ており、赤沢地区内で那珂川に注がれています。この川の上流は山深く清流です。しかし、下流は厚い砂利層のため、平時は水が伏流していることから流れを見ることはできません。

これは、昔、弘法大師が立ち寄った際、洪水に苦しむ人々のために川を枯らせたという伝説があります。俗に「踏ん止め川」といわれています。その豊かな地下水が、今は桂地区全域の水道の水源として用いられています。



参考文献「桂村郷土誌 三訂版」

桂小学校 福祉体験

手話と点字を学ぶ

昨年11月17日(木)、桂小学校において、4年生を対象に、手話と点字の体験学習が行われ、講師は、手話サークルつばさにご協力いただきました。児童の皆さんは、非常に熱心に学習に取り組んでいました。



講師と一緒に

手話は、手や指、顔の動きを使って表現する、目で見える言葉です。聴覚障害のある方にとって、相手の言葉を読み取り、自分の意思を伝えるためのコミュニケーションの方法です。手話以外にも、指文字・読話・口読み・筆談・ジェスチャー

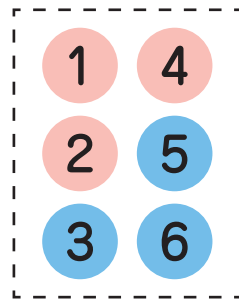
などがあります。指文字は、日本語の50音をすべて指の動きで表現する方法です。新しい単語や、手話表現がわからないときに使用されます。

また手話は、音声言語として各国の言語が異なるように、世界共通ではなく、アメリカには「アメリカ手話」、中国には「中国手話」が存在します。日本の中でも地域ごとに異なる手話の方言もあります。

点字は視覚障害者が、文字を読んだり、書いたりするために使う文字です。一度習得することで、個々のペースで文字の読み書きが出来る、考えを整理するうえで非常に優れています。

点字はたて3点、よこ2点の6つの点で構成される文字です。この6つの点の組み合わせをマスと呼びます。この1マスがひらがな50音の中の1文字を表します。

点字器で書くときは、右から左に書き、読むときは、凸面を左から右へ読みます。



※母音をピンク、子音を青で表しています。

手話の授業では、児童たちが、ジェスチャーでの会話やあいさつの仕方、自己紹介などを学び、点字においては、自分の名前の書き方、簡単な言葉を書き、読むことを学びました。この



点字器で書いてみよう

体験が、今後手話や点字をより深く学びきっかけになればと願います。

手話を学ぶ 40

いろいろな地名の表し方③

明けましておめでとうございませう。今年もコロナ感染症に注意しながらも、楽しく笑いあえる時間を持つ事ができる日常に成ることを願っています。

【岡崎】
左手を握って、腕を曲げ、上腕部に右手をあてて弧を描く。



※岡崎ろう学校の相撲部が強かったことから、「強い」という意味を表す現地の表現

【神戸】
右の親指と人差し指で輪を作り、親指をひたいにあてて右に引く。



※神戸で討ち死にした楠木正成の「菊水の紋」から

【小笠原】(小)+(傘)+(腹)
右の人差し指と中指の間に左の人差し指を入れる



(腹)
左手を上げたまま、右手をお腹にあてる。



※「傘」は傘を開く様子で表す。

【栢】
手のひらを上にした右手を2回軽く握る。



(すぐに使える手話辞典6000より引用)

加藤木 はるゑさん 91歳
下古内

陽当たりのいいお家の玄関で、元気に出迎えてくれたはるゑさん。現在は、娘さんと二人で暮らしています。

娘さんが1か月入院した時には、カレンダーに赤い丸印をつけ、帰ってくる日を待ちわびていたそうです。そんなエピソードを話しながら、「ちっとも寂しくな

わが町のさわやか元気さん 58

鈴木 晃さん 92歳
阿波山

阿波山地区の桂図書館東側に住む、鈴木晃さんをご紹介します。

鈴木さんは現在92歳、そのお歳を聞いて驚きました。断然お若く見えます。鈴木さんの仕事は税理士で、18歳から58歳まで税務署に勤務し、その間に税理士の資格を取得したとのこと。



この40年間の経験と資格を活かし、現在でも決算書の作成依頼などがあり、仕事として受けているとのことでした。若さを維持する秘訣は、「仕事によって常に

かったよ」と強がっている姿はとてモチャームングでした。近所には孫夫婦が住んでいて、一人でいた時にはご飯を持ってきてくれるなど気づかってくれたそうです。
また、午後3時すぎになると、手押し車で、小学校から帰ってくる曾孫のお迎えに行きます。「曾孫のお迎えが出来るなんてうれしい」とよく言われるそうです。

はるゑさんは、10年以上も前から、地域で行われているサロンに参加し、シルバリーハビリ体操を行っています。体を動かすことが、健康の秘訣なのかもしれませんが、これからお元気です。



脳トレを行っている効果です」と話していました。

奥様を20年程前に亡くし、現在は大きな家に一人で住んでいます。洋品店を奥様が経営していました。次男が引き継ぎ、長男は学習塾を経営しています。二人とも近くに住み、息子さんのお嫁さん達が、おかず類を届けてくれるため、食べることが困らないとのこと。これからは、「ブラボー我が人生」で元気にお過ごしください。

寄付されたお米を配付しました

毎年12月に歳末たすけあい見舞金助成事業が行われます。この事業は、みんなを支え合うあたたかい地域づくりを理念に、支援を要する世帯に対し、あたたかいお正月を迎えられるよう歳末に見舞金を支給するものです。歳末たすけあい見舞金は、共同募金事業で集まった募金を基にしています。今年度は206名の方が該当になりました。

また、昨年は住民の皆様から、たくさんのお米の寄付をいただきました。寄付されたお米は、該当された皆様に見舞金と合わせて配付いたしました。



目次

- 表紙.....1
- 新年のあいさつ.....2
- 卯年の豆知識.....3
- 社会福祉大会.....3
- きらっと生きる.....4
- つくしの四季.....5
- 「このゆびとまれ」交流の場開設.....5
- 山の集い・銀輪の集い.....5
- 生活支援体制整備事業.....6
- しろさと町民まつりを開催.....6
- 共同募金.....6
- しろさと.....6
- 桂小学校 福祉体験.....7
- 手話を学ぶ.....7
- わが町のさわやか元気さん.....8
- 寄付されたお米を配付しました.....8
- 目次・編集後記.....8

編集後記

謹んで新年のお慶びを申し上げます。旧年中は、かざぐるまをご愛読いただき、ありがとうございます。今年も編集員一同、よりいっそう内容を充実させ、多くの皆様に読んでいただけるよう編集に力を入れていきたいと思っております。今年こそ、コロナの波が収まるよう、マスクなしの笑顔が見られるよう、その日まで元気を出していきましょう。